

無料

“もしも”の時に

救急カプセル

「救急カプセル」は、自宅で具合が悪くなったとき、救急車が必要な“もしも”のときの安全と安心を守る取り組みです。

救急搬送時に必要な『かかりつけ病院』『持病』などの情報を記入したカードをカプセルに入れ、冷蔵庫で保管することによって救急隊に必要な情報を伝え、万一の救急時に備えます。

このカプセルは119番通報時、本人等が病状などを説明できない場合、保管された情報をもとに『かかりつけ医療機関』や『搬送医療機関』と連絡・連携し、迅速な救急活動に役立てるものです。

ひとり暮らしの高齢者、高齢者の世帯障がいのある方などのご家庭の『安全』『安心』を守るとりくみです



① なんで冷蔵庫？

駆けつけた救急隊員がすぐに救急カプセルを見つけ出すために、一番わかりやすい場所が冷蔵庫です。目印のシールを冷蔵庫の前面に貼ってもらうことで、救急カプセルの場所がすぐに分かります。



② 救急情報カードって？

自宅で具合が悪くなったとき、必要な情報を正確、かつ迅速に伝えることは大変困難です。

「救急情報カード」は、その必要な情報をあらかじめ記入しておくもので、病院などに必要な情報を伝えやすくなります。

表

裏

情報が古くなった場合は、新しく「救急情報カード」を記入し直してください。😊

③ どうやって保管するの？

「救急情報カード」と専用容器、シールが配付されたら、その容器に「救急情報カード」を入れて、冷蔵庫の見つけやすい場所に保管します。



★★★ ご注意 ★★★

- ・「救急情報カード」は、緊急時や災害時に、救急隊員や行政、自主防災組織、搬送先医療機関、その他駆けつけた人などが開封し活用します。
- ・かかりつけ医療機関があっても、他の病院に搬送されることがあります。
- ・「救急情報カード」に記載されている事が必ずしも実行されるとは限りません。
- ・救急活動時に、救急隊員が必要でないと判断した場合や搬送に急を要するときは、カプセルを活用しない場合があります。
- ・「救急カプセル」は、個人の責任において保管してください。

お問合せ 社会福祉法人 大阪市住吉区社会福祉協議会（地域支援担当）

大阪市住吉区浅香1-8-47 住吉区在宅サービスセンター内
TEL06-6607-8181 FAX06-6692-8813